

箕面都市開発株式会社

平成24年度

通期業績予想

〔上半期決算反映版〕

平成24年12月

箕面都市開発株式会社

上半期決算に基づく通期業績予想の概要

1 調停条項と比較すると

- 期末資金残高について、調停条項の想定推移を上回る見込みです。
- 純資産額についても、調停条項の想定推移を上回り、繰延税金資産を除いても予定通り平成25年度には債務超過を解消する見込みです。
- 本業の利益を示す営業利益など、いずれの利益ベース(営業利益・経常利益・当期純利益)においても調停条項を上回る見込みです。

※繰延税金資産とは・・・将来の会計期間に帰属すべき税金費用(損金)を当期に前払いしたと考え、これを繰延処理することにより生じる資産である。

2 平成24年度予算と通期業績予想を比較すると

- 通期業績予想では、予算編成時の見込みに比べ、売上高は微増になるものの、営業利益、経常利益、当期純利益とも、**予算を上回る見込みであり、経営は順調です。**

3 今後の展望

- いずれの利益ベースにおいても、調停条項や平成24年度予算を上回る経営となっていますが、これは人件費など経費削減によるものです。
- 今後は、更なる収益拡大のために、新規事業の獲得など**売上高を増加させるための事業展開に力を入れていきます。**

特定調停に基づく

調停条項との比較

1. 経営内容を判断するポイント

■ 貸借対照表や損益計算書で経営判断することも必要ですが、新たな投資や臨時的な支出に大きく左右されます。

★ 調停条項の着実な履行を判断するポイント

- ① 期末にどれだけの資金残高があるのか
- ② 純資産額が増加しているのか(3年で債務超過が解消するのか)

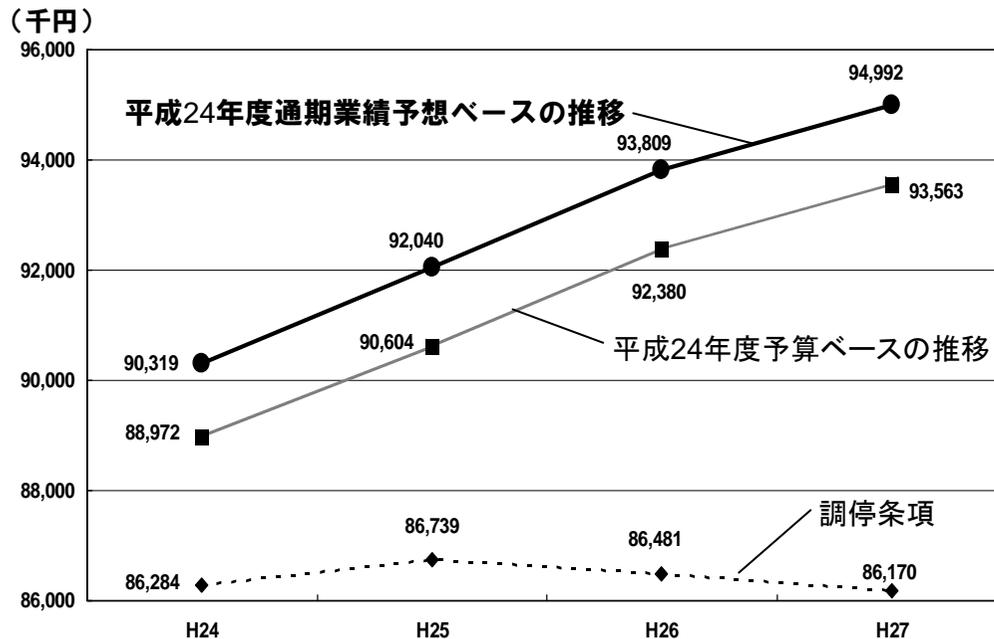
.....➔ 資金計画で判断することが適切

2. 資金計画の見込み

(1) 期末資金残高の推移

(単位: 千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
調停条項	86,284	86,739	86,481	86,170
平成24年度予算ベース	88,972	90,604	92,380	93,563
平成24年度通期業績予想ベース	90,319	92,040	93,809	94,992



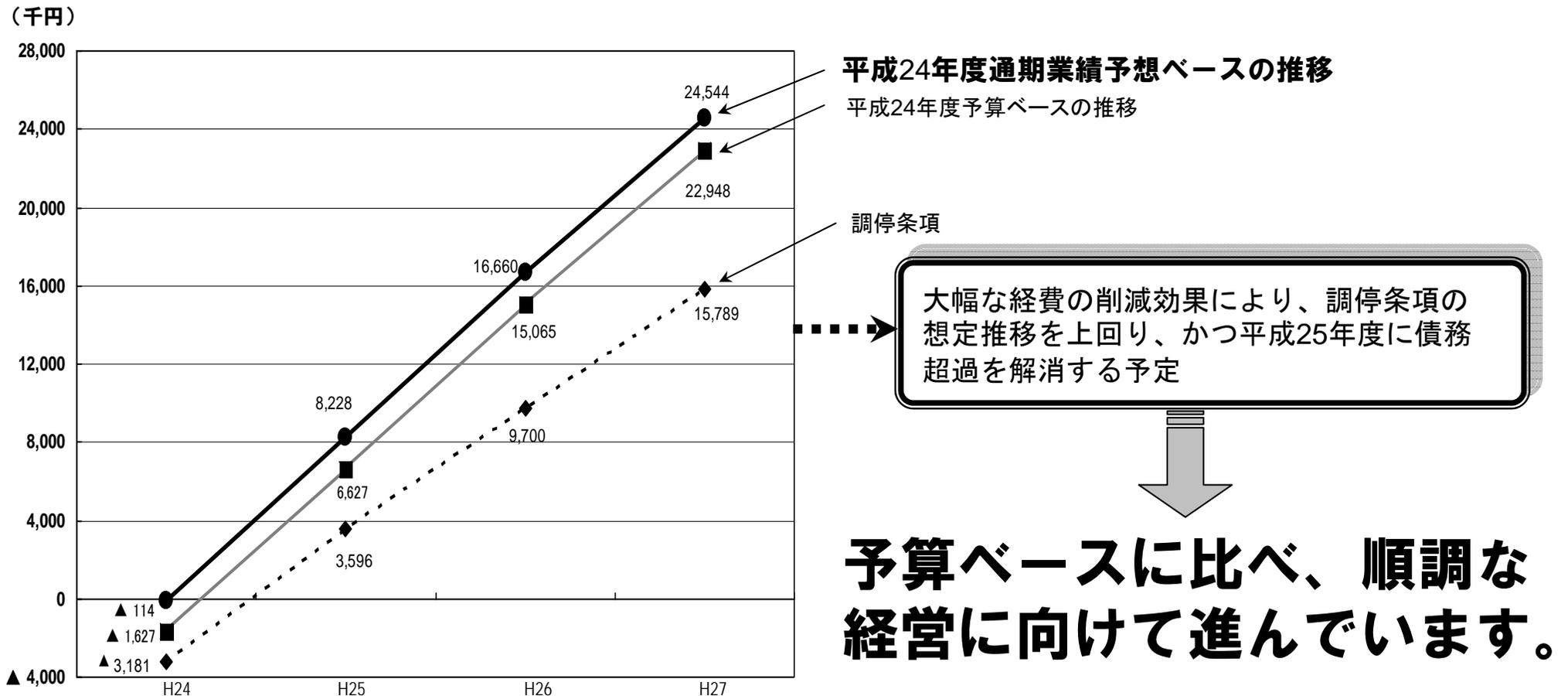
人件費を柱とする大幅な経費の削減効果により、調停条項の想定推移を上回る予定

(2) 純資産額の推移

(単位: 千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
調停条項	▲3,181	3,596	9,700	15,789
平成24年度予算ベース	▲1,627	6,627	15,065	22,948
平成24年度通期業績予想ベース	▲114	8,228	16,660	24,544

(※)各数値は繰延税金資産を除いています。



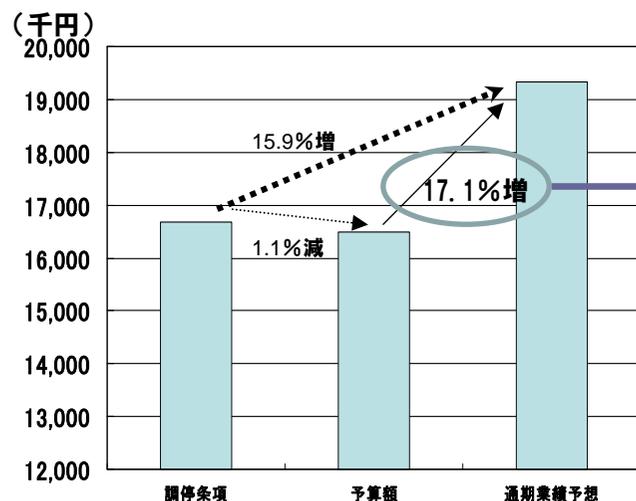
〔参考1〕利益計画・資金計画の比較

(単位:千円・%)

	平成24年度			調停条項との比較			
	調停条項	予算額	通期業績予想	予算額		通期業績予想	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	108,000	111,500	112,178	3,500	3.2	4,178	3.9
営業利益	16,680	16,500	19,325	▲180	▲1.1	2,645	15.9
経常利益	14,703	14,594	17,203	▲109	▲0.7	2,500	17.0
当期純利益	7,478	7,863	9,375	385	5.1	1,897	25.4
期末資金残高	86,284	88,972	90,319	2,688	3.1	4,035	4.7
純資産額	▲3,181	▲1,627	▲114	1,554	48.9	3,067	96.4

通期業績予想では、すべての項目において、調停条項を上回る予定となっています。

〔参考2〕平成24年度営業利益（本業利益）の比較



予算額を上回り、結果として、調停条項で示された数値も上回りました。

要因

文化・交流センターの新規投資効果による収入の増加や全体的な経費削減により、予算ベースを上回る予定です。

平成24年度

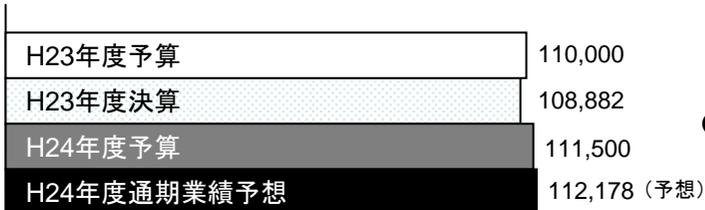
通期業績予想

1. 通期業績予想

- ・平成23年度決算は、調停成立後の初年度として、人件費を柱とする大幅な歳出削減や土地売却による特別利益などにより、予算を上回る収益が確保できました。
- ・平成24年度は、平成23年度予算ベースを更に上回る目標を掲げて予算編成しました。結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも予算を上回る見込みです。

■売上高

(単位:千円)



H23決算・H24予算と通期業績予想の比較・主な要因

決算比3.0%増

- ・文化・交流センターの利用料金収入増
- ・サンプラザ2階自社所有床新規賃貸による収入増

予算比0.6%増

- ・文化・交流センターの利用料金収入増
- ・文化・交流センター事業の新規投資効果による収入の増加

■営業利益



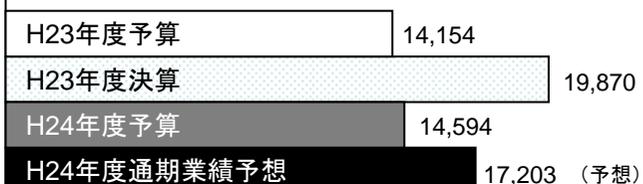
決算比12.0%減

- ・施設の老朽化に対する長期的な対応を図るため、平成23年7月に採用した建築職の通年分の執行、及び平成24年2月末の退職者の補充による人件費等の増

予算比17.1%増

- ・文化・交流センター事業の業務見直しによる経費の減少

■経常利益



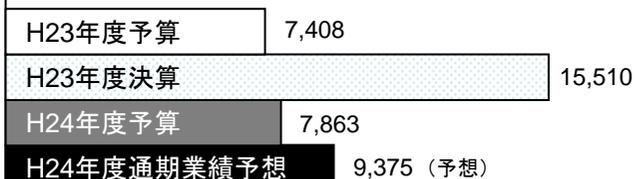
決算比13.4%減

- ・営業利益の減収による

予算比17.9%増

- ・営業利益の増収による

■当期純利益



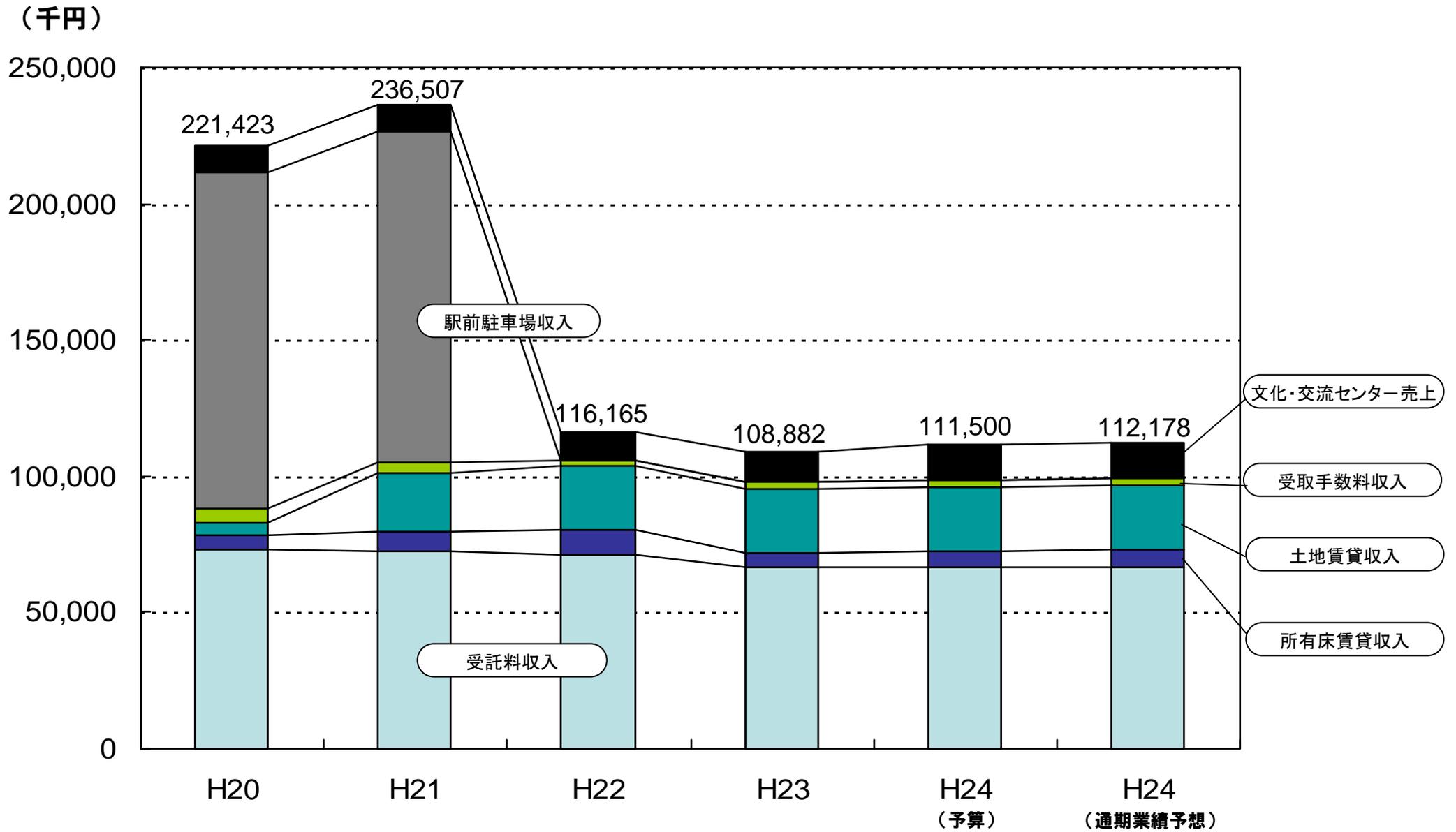
決算比39.6%減

- ・経常利益の減収による
- ・平成23年度は土地売却による特別利益を計上

予算比19.2%増

- ・経常利益の増収による

2. 事業別売上高の推移



〔参考1〕決算実績と予算・通期業績予想の対比

(単位:千円・%)

	平成23年度 (予算)		平成23年度 (決算)		平成24年度 (予算)		平成24年度 (通期業績予想)		増減率	
	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	H23決算・ H24業績予 想対比	H24予算・ H24業績予 想対比
売上高	110,000	—	108,882	—	111,500	—	112,178	—	3.0	0.6
受託料収入	66,107	—	66,866	—	66,489	—	66,579	—	▲0.4	0.1
所有床賃貸収入	6,504	—	4,943	—	6,150	—	6,442	—	30.3	4.7
土地賃貸収入	23,640	—	23,640	—	23,640	—	23,640	—	0	0
受取手数料収入	1,892	—	2,280	—	2,221	—	2,370	—	3.9	6.7
文化・交流センター売上	11,857	—	11,153	—	13,000	—	13,147	—	17.9	1.1
営業利益	16,100	14.6	21,971	20.2	16,500	14.8	19,325	17.2	▲12.0	17.1
経常利益	14,154	12.9	19,870	18.2	14,594	13.1	17,203	15.3	▲13.4	17.9
当期純利益	7,408	6.7	15,510	14.2	7,863	7.1	9,375	8.4	▲39.6	19.2
当期純利益 (法人税等調整額除く)	—	—	10,289	9.4	—	—	—	—	—	—

※法人税等調整額とは・・・税務上の損金、益金で算定される課税所得と企業会計上の費用、収益で算定される当期純利益との差額を調整するものである。

〔参考2〕貸借対照表

(単位:千円)

	平成23年度		平成24年度 (平成24年9月30日現在)		増減額
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
資産合計	491,924	100.0	492,302	100.0	378
流動資産	90,584	18.4	92,196	18.7	1,612
固定資産	401,340	81.6	400,106	81.3	▲1,234
有形固定資産	377,546	94.1	376,312	94.0	▲1,234
無形固定資産	296	0.1	296	0.1	0
投資その他の資産	23,498	5.8	23,498	5.9	0
負債合計	490,584	99.7	484,056	98.3	▲6,528
流動負債	18,181	3.7	11,276	2.3	▲6,905
固定負債	472,403	96.3	472,780	97.7	377
純資産	1,340	0.3	8,246	1.7	6,906
純資産(繰延税金資産除く)	▲9,490	—	▲114	—	9,376

※繰延税金資産とは・・・将来の会計期間に帰属すべき税金費用(損金)を当期に前払いしたと考え、これを繰延処理することにより生じる資産